

令和元年度 再評価対象事業一覧表（農業農村整備・県事業）

番号	事業名	ふりがな 地区名等	箇所名	基本諸元（全体事業費・受益面積等）		事業採択	経過年数	区分	事業費 進捗率	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針	
				全体事業費 百万円	受益面積 ha							
1	中山間地域 総合整備事業	みよし 三好	三好郡 東みよし町	1,656	281.8	用排水路 8,012m 農道 3,111m 農地防災 (ため池) 2箇所 農業集落道 970m 活性化施設 1箇所 市民農園 1箇所	H17	15	⑥	67%	<p>本地区は、徳島県の西部、三好郡に位置する吉野川北岸の中山間農業地帯で、急峻な地形を呈しており、農地はほとんどが不整形かつ小規模である。また、生産基盤及び生活環境基盤に係る整備の遅れとともに過疎化、高齢化、担い手不足等の課題を抱えている。</p> <p>このため、老朽化した用排水路の整備、農道整備を進めることにより、農地の保全に努め、生産条件の改善を図るとともに、農業集落道等を整備することで、生活環境の向上や地域活性化を目指す。</p> <p>一方、平成30年に「にし阿波の傾斜地農耕システム」が世界農業遺産に認定されたことから、東みよし町及び地元の本事業に対する期待は大きく、事業の早期完成を要望されている。</p>	継続
2	経営体育成 基盤整備事業	ながいけせいぶ 長生西部	阿南市	1,092	41.2	ほ場整備 A=41.2ha	H12	19	⑥	85%	<p>本地区の耕地は未整備であり、地下水位が高い湿田のために用排水の便も悪く、農作業に多大な労力を要している。本事業により区画整理を施工することによって、生産性の向上と経営規模の拡大が図られるため、地元の期待は大きく、阿南市及び受益者から事業の早期完成を要望されている。</p>	継続
3	広域営農団地 農道整備事業	よしのがわ 吉野川 ちゅうぶ 中部2期	美馬郡 つるぎ町	7,020	1,826.0	農道工 L=6,700m	H7	25	⑥	93%	<p>農業従事者の高齢化や後継者不足等により、当該地域における農業を取り巻く状況は厳しいが、基幹農道の整備により、営農労力の低減や流通の合理化が図られるため、つるぎ町及び地元受益者は本事業の早期完成を望んでいる。</p>	継続
4	広域営農団地 農道整備事業	あなんにゅうだに 阿南丹生谷 2期	那賀郡 那賀町	2,474	1,786.0	農道工 L=270m	H22	10	③	79%	<p>農業従事者の高齢化と農業後継者の不足により、当該地域における農業を取り巻く状況は厳しいが、基幹農道の整備により、営農労力の低減や流通の合理化が図られる。また、近年頻発する水害に備えるため、幹線道路の複線化が可能となる本事業の必要性が高まっており、関係市町、地元受益農家から、早期完成を強く要望されている。</p>	継続
5	老朽ため池等 整備事業	さんぞんようすい 三村用水	三好市	546	99.7	水路トンネル L=261.5m	H27	5	②	94%	<p>本地区における既存施設は、築造後約190年が経過した裸坑の水路トンネル施設であり、老朽化により崩壊する危険性が高くなっている。トンネル崩壊から誘発される地すべりによって近隣河川が閉塞され、越流水により下流域一帯の家屋や田畑へ甚大な被害が生じる恐れがあるため、本事業の施工により、被害防止を未然に図る。三好市及び地元受益者からは早期完成を強く要望されており、本年度トンネル本体工事に着手し、令和2年度の完成を目指している。</p>	継続

令和元年度 再評価対象事業一覧表（農業農村整備・県事業）

番号	事業名	ふりがな 地区名等	箇所名	基本諸元（全体事業費・受益面積等）		事業採択	経過年数	区分	事業費 進捗率	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針	
				全体事業費 百万円	受益面積 ha							事業内容
6	国営附帯県営 農地防災事業	なかがわ 那賀川・ いまづ 今津	阿南市, 小松島市	699	218.5	幹線水路 L=3.4km	H27	5	②	30%	<p>本地区は、県南東部に位置する低平水田地帯であり、水稻を中心として優良な農業経営が展開されているが、近年の都市化・混住化に伴う地区内用水路への生活雑排水の流入や、用水路の老朽化による流下能力の低下によって、農業用水の水質が悪化し、水稻等の栽培に支障をきたしている。</p> <p>本事業は、国営総合農地防災事業那賀川地区の関連事業として、幹線水路等の改修を行い、農業用水の水質を保全し、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図るもので、地元受益者からの要望も強く、令和3年度の完成を目指している。</p>	継続
7	国営附帯県営 農地防災事業	なかがわ 那賀川・ こまつしま 小松島	小松島市, 阿南市	805	625.3	幹線水路 L=5.0km	H27	5	②	68%	<p>本地区は、県南東部に位置する低平水田地帯であり、水稻を中心として優良な農業経営が展開されているが、近年の都市化・混住化に伴う地区内用水路への生活雑排水の流入や、用水路の老朽化による流下能力の低下によって、農業用水の水質が悪化し、水稻等の栽培に支障をきたしている。</p> <p>本事業は、国営総合農地防災事業那賀川地区の関連事業として、幹線水路等の改修を行い、農業用水の水質を保全し、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図るもので、地元受益者からの要望も強く、令和3年度の完成を目指している。</p>	継続
8	国営附帯県営 農地防災事業	なかがわ 那賀川・ なんがん 南岸	阿南市	702	207.9	幹線水路 L=4.3km	H27	5	②	58%	<p>本地区は、県南東部に位置する低平水田地帯であり、水稻を中心として優良な農業経営が展開されているが、近年の都市化・混住化に伴う地区内用水路への生活雑排水の流入や、用水路の老朽化による流下能力の低下によって、農業用水の水質が悪化し、水稻等の栽培に支障をきたしている。</p> <p>本事業は、国営総合農地防災事業那賀川地区の関連事業として、幹線水路等の改修を行い、農業用水の水質を保全し、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図るもので、地元受益者からの要望も強く、令和3年度の完成を目指している。</p>	継続
9	国営附帯県営 農地防災事業	なかがわ 那賀川・ ひらしま 平島	阿南市	1,099	341.4	幹線水路 L=5.4km	H27	5	②	38%	<p>本地区は、県南東部に位置する低平水田地帯であり、水稻を中心として優良な農業経営が展開されているが、近年の都市化・混住化に伴う地区内用水路への生活雑排水の流入や、用水路の老朽化による流下能力の低下によって、農業用水の水質が悪化し、水稻等の栽培に支障をきたしている。</p> <p>本事業は、国営総合農地防災事業那賀川地区の関連事業として、幹線水路等の改修を行い、農業用水の水質を保全し、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図るもので、地元受益者からの要望も強く、令和3年度の完成を目指している。</p>	継続

令和元年度 再評価対象事業一覧表（森林整備・県事業）

番号	事業名	ふりがな 路線名	市町村名	基本諸元（全体事業費・受益面積等）			事業採択	経過 年数	区分	工事 進捗率	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応 方針
				全体事業費 百万円	利用区域面積 ha	延長 m						
10	林道開設事業	この たまがき せん 神野玉笠線	海陽町	2,195	510	8,682	H7	24	⑥	96%	<p>本県では、充実してきた森林資源を背景に、「スマート林業プロジェクト」を展開しており、令和10年度(2028年)までに「県産材の生産量・消費量を70万m<sup>3</sup>/年」を戦略目標の一つとして、生産性のさらなる向上を図るため、生産量の増加に対応する路網整備を重要な課題としている。</p> <p>当林道は、海部郡海陽町神野の国道193号から海陽町小川の町道「玉笠線」へと連絡する森林基幹道であり、急峻な地形条件や路網が未整備であることなどから、間伐などの森林整備が遅れた森林があり、路網整備が急がれている。</p> <p>また当地域は、海部川流域の重要な水源地域としての森林の整備が求められているほか、緊急時における国道及び町道を補完する迂回路としての役割を担うことから、地元海陽町をはじめ森林所有者からは、早期完成を強く要望されている。</p>	継続
11	林道開設事業	こうつ ふたど せん 高越二戸線	美馬市	4,896	1,167	16,400	H6	25	⑥	29%	<p>本県では、充実してきた森林資源を背景に、「スマート林業プロジェクト」を展開しており、令和10年度(2028年)までに「県産材の生産量・消費量を70万m<sup>3</sup>/年」を戦略目標の一つとして、生産性のさらなる向上を図るため、生産量の増加に対応する路網整備を重要な課題としている。</p> <p>当林道は、美馬市穴吹町穴吹の林道猿飼線から美馬市木屋平の県道三ツ木宮倉線へと連絡する森林基幹道であり、急峻な地形条件や路網が未整備であることなどから、間伐などの森林整備が遅れた森林があり、路網整備が急がれている。</p> <p>また当地域は、穴吹川流域の重要な水源地域としての森林の整備が求められているほか、緊急時における県道および町道を補完する迂回路としての役割を担うことから、地元美馬市をはじめ森林所有者からは、早期完成を強く要望されている。</p>	継続

評価対象事項の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後5～9年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ④事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- ⑤その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑥再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

令和元年度 再評価対象事業一覧表（県土整備部関係事業・県及び市町村事業）

番号	事業名	事業者	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元 全体事業費C(百万円)等	事業採 択年度	経過 年数	区分	進捗率(%)		事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
									事業費	用地		
1	道路改築事業	徳島県	一般国道438号 宮平バイパス	つるぎ町	L=2,360m W=5.5(9.5)～ 6.5(12.0)m C=7,000百万円	H7	25	⑥	73	100	当路線は、徳島県徳島市からつるぎ町を經由し、香川県坂出市に至る幹線道路で第2次緊急輸送道路に指定されている。当区間は、幅員狭小、線形不良区間が連続するなど、交通の隘路となっている。当事業により安全で円滑な交通が確保され、観光事業等の地域振興に大きく寄与する。	継続
2	道路改築事業	徳島県	一般国道492号 川井バイパス	美馬市	L=1,250m W=6.0(11.0)m C=4,300百万円	H12	20	⑥	97	100	当路線は、香川県高松市から美馬市を經由し、高知県長岡郡大豊町に至る幹線道路で第2次緊急輸送道路に指定されている。当区間では人家連担地を通過するなかで幅員狭小、線形不良区間が連続し、交通の隘路となっている。当事業により安全で円滑な交通が確保され、観光事業等の地域振興に大きく寄与する。令和3年度の完成を目指している。	継続
3	街路事業	徳島県	(都)徳島東環状線 末広・住吉工区	徳島市	L=1,770m, W=20.5(36.0)m C=52,000百万円	H7	25	⑥	83	100	当路線は徳島外環状道路の東側の一郭を形成する高架4車線、側道2車線の道路である。徳島市中心部の渋滞緩和や南海トラフ巨大地震発生時の緊急輸送道路等の重要な役割を担うものとして、これまで段階的に整備を進め、事業効果の早期発現を図ってきた。今後は、マリニピア沖洲や徳島東IC(仮称)、津田IC(仮称)へのアクセスを更に向上させ、物流の円滑化や地域経済の活性化等の効果をより広域的に波及させる。	継続
4	街路事業	徳島県	(都)住吉万代園瀬 橋線	徳島市	L=1,040m, W=13.0(25.0)m C=10,500百万円	H12	20	⑥	66	72	当路線は内環状道路の一部を形成する4車線道路である。徳島市中心部では、都市内交通や通過交通が集中し、慢性的な交通渋滞が発生している。当事業により、徳島市中心部の渋滞緩和や歩行者及び自転車の交通安全対策等に大きな効果が見込まれる。	継続
5	公園事業	徳島県	南部健康運動公園	阿南市	A=70ha C=12,500百万円	H12	20	⑥	91	100	当公園は、県南地域の活性化に加え、子供からお年寄りまでが、スポーツ・レクリエーションに親しみながら、気軽に健康づくりができることを目的として整備を進めている。平成19年度の野球場の供用以降、テニスコートなどを順次供用してきた。今後、公園の核となる陸上競技場などの施設を順次整備し、更なる競技力の向上を図る。	継続
6	広域河川改修事業	徳島県	西大堀川	徳島市	L=2,300m 河道拡幅 C=2,800百万円	H3	29	⑥	73	80	当河川は、吉野川水系の河川であり、平成16年、26年において浸水被害が発生した。全体改修延長2.3kmの内、下流から約1.3kmが概成しているが残る上流側では河道断面が狭く、早期改修を望む地元からの要望が強い。令和10年度の完成を目指している。	継続

番号	事業名	事業者	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元 全体事業費C(百万円)等	事業採 択年度	経過 年数	区分	進捗率(%)		事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
									事業費	用地		
7	総合流域防災事業	徳島県	いわやがわ 岩谷川	吉野川市	L=1,400m 河道拡幅 C=4,500百万円	H22	10	③	12	21	当河川は、吉野川水系の河川であり、平成16年、平成21年、平成26年に浸水被害が発生した。全体改修延長1.4kmの内、下流から0.3kmが概成しているが、残る上流部の河道断面が狭く、早期改修を望む地元からの要望が強い。令和22年度の完成を目指している。	継続
8	通常砂防事業	徳島県	たかもり ひがしだに 高森東谷	佐那河内 村	砂防堰堤 N=1基 C=300百万円	H24	8	⑥	22	100	当箇所は、名東郡佐那河内村中辺に位置し、人家17戸、避難所である小学校や要配慮者利用施設である保育園等を保全するため、砂防堰堤による整備を平成24年度より事業着手しており、令和5年度の完成を目指している。	継続
9	通常砂防事業	徳島県	まえやま だに 前山谷	勝浦町	砂防堰堤 N=1基 C=300百万円	H26	6	⑥	25	0	当箇所は、勝浦郡勝浦町豊田に位置し、人家9戸、県道、避難所である小学校等を保全するため砂防堰堤による整備を平成26年度より事業着手しており、令和4年度の完成を目指している。	継続
10	通常砂防事業	徳島県	とり まるたに 鳥ヶ丸谷	鳴門市	溪流保全工L=150m 砂防堰堤 N=1基 C=260百万円	H21	11	⑥	47	100	当箇所は、鳴門市北灘町に位置し、人家14戸、国道11号（重要交通網）、避難所等を保全するため砂防堰堤及び溪流保全工による整備を平成21年度より事業着手しており、令和4年度の完成を目指している。	継続
11	通常砂防事業	徳島県	いもば だに 芋場谷	阿波市	溪流保全工 L=308m 砂防嵩上げ堰堤 N=1基 C=320百万円	H19	13	⑥	73	100	当箇所は、阿波市阿波町芋場に位置し、人家4戸、県道等を保全するため溪流保全工及び既存堰堤の嵩上げによる整備を平成19年度より事業着手しており、令和3年度の完成を目指している。	継続
12	通常砂防事業	徳島県	たにぐち きよだに 谷口局谷	美馬市	砂防堰堤 N=2基 C=360百万円	H24	8	⑥	14	100	当箇所は、美馬市木屋平谷口に位置し、人家5戸、国道、避難所である小学校や要配慮者利用施設である幼稚園等を保全するため砂防堰堤による整備を平成24年度より事業着手しており、令和5年度の完成を目指している。	継続
13	通常砂防事業	徳島県	ひろせ きただに 広瀬北谷	つるぎ町	砂防堰堤 N=1基 C=320百万円	H21	11	⑥	64	100	当箇所は、美馬郡つるぎ町貞光東丸井に位置し、人家4戸、国道、避難所等を保全するため砂防堰堤による整備を平成21年度より事業着手しており、令和2年度の完成を目指している。	継続
14	通常砂防事業	徳島県	まさとも だに 政友谷	三好市	砂防堰堤 N=2基 C=300百万円	H27	5	②	30	100	当箇所は、三好市山城町政友に位置し、避難所である旧政友小学校、要配慮者利用施設である政友保育所を保全するため、砂防堰堤による整備を平成27年度より事業着手しており、令和4年度の完成を目指している。	継続
15	通常砂防事業	徳島県	おも だに オモ谷	三好市	砂防堰堤 N=1基 C=320百万円	H27	5	②	34	100	当箇所は、三好市池田町イケミナミに位置し、人家185戸、要配慮者利用施設等を保全するため、砂防堰堤による整備を平成27年度より事業着手しており、令和4年度の完成を目指している。	継続

番号	事業名	事業者	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元 全体事業費 C(百万円)等	事業採 択年度	経過 年数	区分	進捗率(%)		事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
									事業費	用地		
16	通常砂防事業	徳島県	しおたに ごうだに 汐谷3号谷	阿南市	砂防堰堤 N=2基 C=280百万円	H29	3	⑥	27	0	当箇所は、阿南市橘町汐谷に位置し、人家97戸、国道、要配慮者利用施設等を保全するため砂防堰堤による整備を平成29年度より事業着手しており、令和5年度の完成を目指している。	継続
17	総合流域防災事業	徳島県	こ ためだに 小溜谷	阿南市	砂防堰堤 N=2基 C=600百万円	H23	9	⑥	65	100	当箇所は、阿南市伊島町に位置し、人家1戸、避難所である小中学校や要配慮者利用施設である保育所等を保全するため砂防堰堤による整備を平成23年度より事業着手しており、令和4年度の完成を目指している。	継続
18	通常砂防事業	徳島県	いけ うちだに 池ノ内容	美波町	砂防堰堤 N=5基 C=320百万円	H24	8	⑥	30	100	当箇所は、海部郡美波町北河内に位置し、人家8戸、避難所でもあり要配慮者利用施設でも障がい者地域支援センター等を保全するため砂防堰堤による整備を平成24年度より事業着手しており、令和5年度の完成を目指している。	継続
19	地すべり対策事業	徳島県	ふき 吹	三好市	排水パイプ工 L=10,740m 水路工 L=920m アーカー工 N=169本 C=1,000百万円	H17	15	⑥	89	-	当箇所は、三好市井川町吹に位置し、平成16年12月の豪雨により地すべりが発生し、民家の倒壊や道路が埋塞する被害が発生した。当事業により、さらなる地すべりの発生や拡大を防止し、区域内の人家48戸、避難所、県道、市道などを保全するため、平成17年度より事業着手しており、令和3年度の完成を目指している。	継続
20	港湾改修事業	徳島県	とくしま こまつしまう 徳島小松島港 おきのすちく 沖洲地区 りんこうどう ちく おきのす ぞと せん 臨港道路沖洲(外)線	徳島市	L=1,410m, W=13.0(21.0)m C=3,790百万円	H6	26	⑤	97	100	当事業は、マリンプピア沖洲・徳島東ICへの北側アクセス機能向上を目的に臨港道路を新たに整備するもので、現在の沖洲(外)中央線及び沖洲(外)南線の交通を分散させ、交通の円滑化を図るものである。平成22年3月に北側900mを暫定供用しており、残る区間については、令和3年度の完成を目指している。	継続
21	海岸保全施設整備事業	徳島県	あさかわこう かりがひん 浅川港海岸	海陽町	防波堤L=740m 防潮堤L=2,000m C=6,562百万円	H12	20	⑥	79	-	当海岸は、V字地形の典型的なリアス式海岸であるため、大きな津波の被害を受けている。また当海岸内の浅川港は、徳島県地域防災計画の拠点港に指定されるなど、県南部の重要な港となっている。当事業により、浅川地区住民の生命財産を守るとともに、災害時における緊急海上輸送の機能が確保される。令和7年度の完成を目指している。	継続

評価対象事項の①～⑦の区分

- ① 事業採択後5(3)年目で未着工の事業箇所
- ② 事業採択後5年目で継続中の事業箇所(補助事業、砂防事業)
- ③ 事業採択後10年目で継続中の事業箇所(交付金事業等)
- ④ 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所

※①、⑥の( )は砂防事業の場合

- ⑤ その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所
- ⑥ 再評価後5(3)年間を経過した事業
- ⑦ 事後評価対象

令和元年度 事後評価対象事業一覧表（県土整備部関係事業・県及び市町村事業）

番号	事業名	事業者	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元	事業採択年度	事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等
					全体事業費 C(百万円)等		
1	緊急地方道路整備事業	徳島県	とくしま ぐうこう せん 徳島空港線	松茂町	L=1,300m, W=6.5(15.0)m C=4,160百万円	H22	当路線は、四国横断自動車道と一体となって、物流や交流の拠点である徳島阿波おどり空港や国道11号へのアクセス機能を強化する重要路線であり、平成27年3月に完成した。
2	総合流域防災事業	徳島県	おく がたがわ 奥潟川	美波町	L=1,900m 築堤 C=2,541百万円	S44	当河川は、美波町北部に位置する2級河川であり、流域内では豪雨等により度重なる浸水被害に見舞われた。昭和44年度から浸水被害軽減を目的に河川改修に着手し、平成24年に事業が完成した。
3	地すべり対策事業	徳島県	ほち ほんまつ 八本松	美馬市	排水ボーリング工 L=655m アンカー工 N=86本 C=171百万円	H26	当箇所は、美馬市穴吹町穴吹に位置し、平成26年8月、台風11号に伴う豪雨により地すべりが発生し、市道が崩壊するなどの被害が生じたことから、災害関連緊急地すべり対策事業の採択を受けて、対策を実施した。平成26年度に着手し、平成31年2月に完成した。
4	地すべり対策事業	徳島県	ながの 長野	つるぎ町	排水ボーリング工 L=960m 水路工 L=346m C=166百万円	H24	当箇所は、美馬郡つるぎ町半田に位置し、保全対象として人家17戸、県道小谷西端山線および町道を含む地すべり防止区域である。市道擁壁の変状やクラックなどが見受けられることから、地すべりの危険性が高まっていた。平成24年度に着手し、平成31年2月に完成した。